

広島県ゆかりの作品

分類番号	作品名	制作年	説明
J-244	西湖図	室町時代	紙本墨画、6曲1双の屏風形式の作品。西湖は中国・浙江省にある景勝地。縮景園の作庭にあたってモデルにされたといわれる。
J-216	厳島・鞍馬図	江戸時代	紙本彩色、6曲1双の屏風形式の作品で半双に厳島の景観が描かれている。広島県立美術館にはこの作品の他にJ-237「厳島図」などが収蔵されている。
J-221	仏法僧図	明和3(1766)	作者の岡岷山は享保19年(1734)現在の広島市に生まれた。広島藩に仕え、藩の文教活動にも関わった。広島県立美術館には岷山が学んだ宋紫石の「柳下白鷄図」(J-238)も収蔵されている。
J-209	唐美人図	天明5(1784)	作者の福原五岳は享保15年(1730)尾道に生まれた。京都で池大雅に画法を学んだ。頼春水ら儒者・漢詩人との交友も深く、山水・人物画をよくした。作品は他に「草花図」(J-264)がある。
HA-107H	伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代	伊万里焼は、17世紀初頭から佐賀県有田町一帯で作られるようになった磁器の総称。福山市加茂町で焼かれた色絵磁器・姫谷焼に関連するものである。
HA-22	伊万里色絵花卉文輪花鉢		